

COLLEGE INFORMATION



甲子園短大通信

甲子園短期大学 発行

『本年は開学五十周年という記念の年に当たります。甲子園学院の建学の精神は「勤勉努力」「和衷協同」「至誠一貫」の三つです。甲子園短期大学のすべての構成員は、この三つの訓えを校訓とし、教育の根幹に据え



平成二十六年入学式は四月四日、甲子園学院理事長久米知子先生はじめ来賓の方々の臨席のもと、学院高校講堂において執り行われました。



開式後、瀧上凱令学長から次のような式辞がありました。『本年は開学五十周年という記念の年に当たります。甲子園学院の建学の精神は「勤勉努力」「和衷協同」「至誠一貫」の三つです。甲子園短期大学のすべての構成員は、この三つの訓えを校訓とし、教育の根幹に据え

平成二十六年入学式は四月四日、甲子園学院理事長久米知子先生はじめ来賓の方々の臨席のもと、学院高校講堂において執り行われました。

時代は変わりましたが、今の時代に生きる皆さん方も、この訓えは人間性の基本として、非常に大切なものと言えます。皆さんはこれから、何度もこの校訓を聞くことになるでしょうが、言葉を知るだけではなく、実践できるようになっていきたいと思います。

今年度は、短大開学五十周年を記念し、様々な行事を行っています。七月十二日には学生部・入試部合同の記念講演会を実施し、神戸市立西灘小学校の白井真主幹教諭による「しあわせ運べるように」社会とのつながりへ」と題する基調講演や本学の就職支援の説明と入試相談会を行いました。

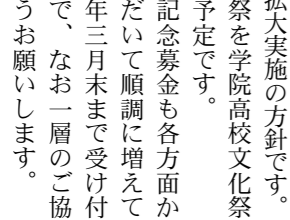
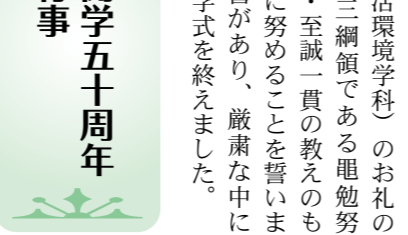
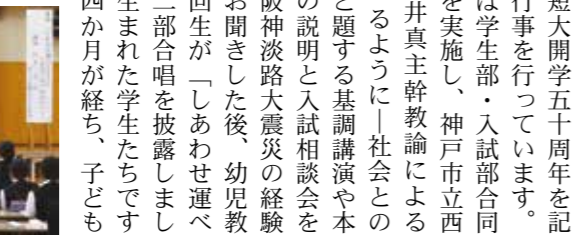
今年度は、短大開学五十周年を記念し、様々な行事を行っています。七月十二日には学生部・入試部合同の記念講演会を実施し、神戸市立西灘小学校の白井真主幹教諭による「しあわせ運べるように」社会とのつながりへ」と題する基調講演や本学の就職支援の説明と入試相談会を行いました。

今年度は、短大開学五十周年を記念し、様々な行事を行っています。七月十二日には学生部・入試部合同の記念講演会を実施し、神戸市立西灘小学校の白井真主幹教諭による「しあわせ運べるように」社会とのつながりへ」と題する基調講演や本学の就職支援の説明と入試相談会を行いました。

特別給付奨学金は、頑張る学生を応援するという趣旨で設けられている本学独自の奨学金制度の一つです。成績優秀で勉強意欲の高い学生を対象に選考委員会が総合的に審査され、決定されます。今回も学生が一名選ばれ、五月十六日に授与式が行われました。

特別給付奨学金は、頑張る学生を応援するという趣旨で設けられている本学独自の奨学金制度の一つです。成績優秀で勉強意欲の高い学生を対象に選考委員会が総合的に審査され、決定されます。今回も学生が一名選ばれ、五月十六日に授与式が行われました。

特別給付奨学金は、頑張る学生を応援するという趣旨で設けられている本学独自の奨学金制度の一つです。成績優秀で勉強意欲の高い学生を対象に選考委員会が総合的に審査され、決定されます。今回も学生が一名選ばれ、五月十六日に授与式が行われました。



夏休みの瀬戸内海

特任教授 池上 貴美子



お盆が過ぎても瀬戸内の海は温かく、日本海ならととくに冷たくなって海水浴はできないのに、備後福

山に帰省した時、海辺に出かけて、遊ぶのが慣わしです。近年、ドルフィンビーチという海水浴場を発見し、はまっています。ビーチに行く途中、釣具店に寄ってエサを買います。そして車が丘を越え、右手に常石造船の船たち、左手に青い海が視界に飛び込み、均整のとれた内海大橋を渡るとき、夏休みは全開になります。

ドルフィンビーチは、釣り場と海水浴場とプールのある広場で構成されています。ビーチにつくと家族の男たちは、海辺で投げ釣りをします。その傍ら、女たちは海に入り、「釣れた?」「ぼちぼち」と言葉交わしながら、大きな浮き輪につかまって浅瀬をパチャパチャします。キスや小さなフグが釣れます。フグは逃がし、キスは夕餉にのせます。海水浴場で泳ぐといっても、私はクローリングができませんので、浮き輪につかまりながら横泳ぎ(イカ泳ぎ?)で飛び込み台の近くまで行き、仰向けで浮きまです。これが私のお気に入りです。麦わら

My Favorites



お気に入りのドルフィンビーチ

帰途、車から見えるキラキラ光る稲の葉の濃い緑に夏の終わりを感じ、自分もまた季節の中を過ぎいくことを思います。強烈な日差しや、雲の形や、山の形が、北陸や京都とは異なっており、小さな頃から見慣れ、感じてきた夏が、日頃はすっかり忘れていた子ども時代と、今の自分を繋いでくれます。このささやかな時を迎えるため、これからお気に入りや好きなものを少しずつ増やしていきたいと思っています。

帰途、車から見えるキラキラ光る稲の葉の濃い緑に夏の終わりを感じ、自分もまた季節の中を過ぎいくことを思います。強烈な日差しや、雲の形や、山の形が、北陸や京都とは異なっており、小さな頃から見慣れ、感じてきた夏が、日頃はすっかり忘れていた子ども時代と、今の自分を繋いでくれます。このささやかな時を迎えるため、これからお気に入りや好きなものを少しずつ増やしていきたいと思っています。

高大連携講座が始まりました

地域貢献活動の一環として、高大連携講座を実施しています。高校生に短大の授業体験を通して、短大の専門分野に興味を持ってもらうことを目的としています。今年度は、兵庫県立伊丹西高等学校と兵庫県立尼崎高等学校から依頼を受け、教員が授業に出向いています。

五月二十七日に兵庫県立伊丹西高等学校「総合ヒューマン類型」の二年生を対象に、『介護のためのコミュニケーション』の講座がありました。介護福祉専攻の堀内特任専任講師が、介護や保育、看護の分野で活用できるコミュニケーションについて講義と実技を行いました。また、五月二十九日には、同校の一年生を対象に『保育の仕事について』の講座が行われ、幼児教育保育学科の新家特任専任講師が、幼稚園と保育所での仕事について講義を行いました。今後も、保育や介護に関する様々な講座を実施していく予定です。

また、甲子園学院高等学校の全学年対象の連携講座も始まっています。一年生から専門的な授業を受けながら、短大の授業に少しずつ慣れていき、将来の進路決定に役立つ充実した講座となっています。短大の施設を活用した連携講座は、多くの高校が利用しています。これからも、様々な高校からの講座の依頼を積極的に受け、高大連携講座を充実させていきたいと考えています。

特別給付奨学金の授与式が行われました。

特別給付奨学金は、頑張る学生を応援するという趣旨で設けられている本学独自の奨学金制度の一つです。成績優秀で勉強意欲の高い学生を対象に選考委員会が総合的に審査され、決定されます。今回も学生が一名選ばれ、五月十六日に授与式が行われました。



授与された幼児教育保育学科II回生の岩崎恵里加さんは「残り少ない学生生活ですが、資格取得のために勉強に励み、実習では一生懸命頑張りたいと思います。学友会や部活動にも取り組み、充実した学生生活にしたいと思っています。」と意欲に満ちた感謝の気持ちを述べていました。

短大での二年間で積極的に学び、知識や技能を身につけ、多くの友人たちとの学生生活を有意義に過ごしてほしいと願っています。

甲子園短大通信 第77号 (編集・発行)甲子園短期大学広報委員会 〒663-107 西宮市林町四-1-5 TEL:079-645-3300 FAX:079-645-7901 http://www.koshien-c.ac.jp

### 平成27年度入学の学生を募集しています

平成二十七年入学の学生募集が始まっています。

選抜方法は昨年度と大きな変更はありませんが、より多様な能力を持つ学生を受け入れるため、AO入試・指定校推薦選考に新たに『特別活動型』を設けました。高等学校の成績のみならず、文科系・スポーツ系の大会やコンクール、展覧会などで活躍した生徒やボランティアなどの社会活動を行っている生徒等を募集します。

また、指定校の専願者に対する特典も大幅に広げました。

詳しくは、平成二十七年入学生募集要項をご覧ください。入試部にご直接お問い合わせください。

### \*\* 平成27年度甲子園短期大学入試日程 \*\*

【AO入試】  
○エントリー 随時受付中  
○課題、活動報告書記入説明日  
8月1日(金) 8月28日(木)、  
11月29日(土)、  
平成27年2月21日(土) 他

区分	課題、活動報告書記入締切日	入試相談日
AO4期	8月18日(月)	8月21日(木)
AO5期	9月8日(月)	9月11日(木)
AO6期	12月17日(水)	12月25日(木)
AO7期	平成27年3月4日(水)	3月7日(土)

区分	出願期間	窓口出願日	選考日
指定校推薦	9月12日(金)～10月1日(水)	10月2日(木)	10月7日(火)
推薦1期	10月2日(木)～10月14日(火)	10月15日(水)	10月17日(金)
推薦2期	11月5日(水)～11月19日(水)	11月20日(木)	11月26日(水)
推薦3期	11月21日(金)～12月3日(水)	12月4日(木)	12月8日(月)
推薦4期	平成27年1月6日(火)～1月15日(木)	1月16日(金)	1月20日(火)
一般	1月29日(木)～2月12日(木)	2月13日(金)	2月17日(火)

### \*\* 8月以降のオープンキャンパス実施予定 \*\*

日程	イベント内容
8月2日(土)	体験しよう！プロの料理 子どものお世話をしてみよう
8月28日(木)	介護で使える食事のワンポイント 保育現場や福祉施設で使ってみよう トークチャイム
11月29日(土)	手作りでも楽しむクリスマスとお正月
平成27年3月27日(金)	甲子園短大ってどんなところ？

すべて9:00～13:00 ※予約不要

### ＊ オープンキャンパス開催中 ＊

五月三十一日(土)を皮切りに、オープンキャンパスが始まりました。高校生にとって、将来の道や進学先を決定するきっかけになる大切なイベントです。

今年度は、教員と学生が一丸となって、メインイベントを企画・運営し、毎回異なったイベントを高校生に体験していただいています。

第一回目は、「アロマ体験」を行いました。アロマに関するクイズに挑戦した後、オリジナルスプレーを作りました。高校生や保護者の方々もいっしょに取り組み、各自一つずつお土産に持って帰りました。

第二回目は、六月二十一日(土)

「楽しく学ぶコミュニケーション」幼児教育保育学科の学生と教員によるコンサート♪が開催されました。高校生たちは、初対面でしたが、学生と一緒にコミュニケーションを楽しみました。その後のコンサートでは、学生と共に「ドレミの歌」を



「ドレミの歌」を振りつきで

振りつきで大きな声で歌って参加していました。

また幼児教育保育学科の体験コーナーとして、壁面製作にもチャレンジしてもらっています。参加者の力作が保育実習室に展示されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

このオープンキャンパスを盛り上げてくれているのが、本学の学生スタッフです。高校生を出迎え、学内の案内や学生生活、授業の裏話など、学生ならではの話は高校生に分かりやすいと好評です。

今後も、各学科・専攻の特色を活かした体験プログラムを企画しています。プロの料理体験や大型絵本の読み聞かせ、在学生がおもてなし、ほっとひといきcafe など、多彩なイベントで皆さまをお待ちしています。

### 大学説明会へクルージングin神戸を実施しました



短大を飛び出して、大学説明会へクルージングin神戸を行いました。六月二十八日(土)に神戸コンチエルトに乗船し、船上から神戸の景色を楽しみ、キーセツトを頂きながらの大学・学科紹介、クイズ大会と約二時間船旅をしました。ここでも学生スタッフが活躍し、高校生たちと交流しました。



参加者の皆さんで集合写真

### ～夢に向かって歩んでいます～ 幼児教育保育学科は今

幼児教育保育学科では、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の取得を目指して日々勉学に励んでいます。

I 回生は大学生活に慣れ、志を共にする友達と交流しながら毎日充実して過ごしています。

授業では保育関連の講義とともに、八月の保育実習に向けての準備が始まりました。まずは保育実習指導の授業などで実習記録の書き方や指導案の作成方法、エピソード記録などの書き方を練習しています。慣れない保育用語に苦労しながらも、子どもたちの写真や映像に見る笑顔に励まされ課題をこなしています。



I 回生造形表現の授業風景

造形表現の授業では、季節の壁面飾りや誕生表づくりをしました。グループで共同作業をする時の役割分担やテーマ設定、材料の準備などを通して、保育者として必要な仕事内容を体験しました。また、手作り絵本や自己紹介用のパネルシアターなど実習で使える手作り教材も作成中です。学内で行う模擬保育で練習を

して、保育実習に臨めるように頑張っています。

II 回生は、五月末から六月初旬にかけて三週間の幼稚園教育実習を行いました。実習前には責任実習を想定しての模擬保育を全員が行い、立案から実践までの練習を重ねました。実習中も指導案の立案に悩む学生がいましたが、実習中の土曜日に短大を開放して行われた指導日に登学して、図書館で資料を探したり友達と情報交換をしたりして研究保育に臨んだ学生が多くみられました。



II 回生教育実習前の模擬保育

就職活動もはじまり、各地で開かれる保育フェアに参加する学生もいます。卒業まで気を引き締めて学びを深めてくれることを期待しています。

就職活動もはじまり、各地で開かれる保育フェアに参加する学生もいます。卒業まで気を引き締めて学びを深めてくれることを期待しています。

### エキウムの一般公開と公開講座を開催



エキウム一般公開



専用ハウス内で咲き誇るエキウム

開は、今年で八回目を迎えました。毎年多くの見学者をお迎えし、本学の地域交流活動として恒例の行事となり、新聞四紙(神戸、産経、毎日、読売)にも紹介されました。

今年、五月十三日、十五日、十七日に公開し、三日

平成十九年に日本で初めて開花に成功したエキウム交雑種と、平成二十年に日本で初めて蜜源植物として蜂蜜づくりになったエキウム・カンディカンスの開花に併せた一般公開

間で約二百十名の方々が見学に訪れました。

短大開学五十周年の記念行事の一環として、エキウムが苦手とする日本の夏の暑さと冬の寒さを回避できる、エキウム専用ハウスを設置し、日本の気象条件に合った栽培技術を提案できるように調査しています。

五月十五日には、これまでのエキウムによる研究活動をまとめた、土橋教授による公開講座「エキウムによる地域活性化の可能性」を開催し、約六十名の参加者がありました。

### 平成二十六年年度 後援会総会を開催しました

短大後援会総会が、五月三十日(金)短大二階多目的演習室で開催されました。短大から瀧上学長、永藤学長補佐、新宅学生部長等が出席しました。総会では後援会会計の決算、予算が承認され、役員改選では、西澤弘泰会長、矢田純一副会長、鍛冶山則幸書記、増田明会計、山崎豊雄会計監査が新たに選任され、兼子努会計監査が再任されました。

次に、短大から本年度の行事予定や就職の現状等について説明の後、土橋教授が「園芸の新たな可能性―甲子園短期大学の実践を通して」と題する講演を行い、最後に出席保護者と担任との個別懇談会の場がもたれました。